トステム株式会社

高断熱アルミサッシ サーマルⅡ シャッターサッシ 半外付型(枠)　取付け説明書

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。　※ ▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注 意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

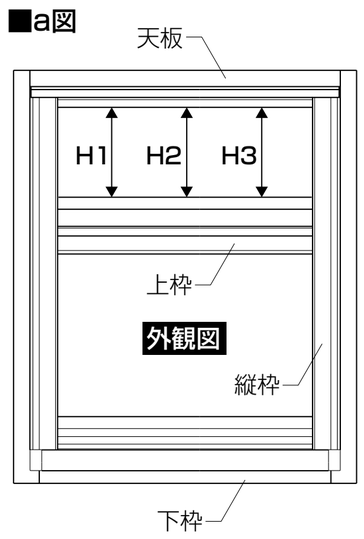
⚠注　意

●思わぬけがや障子落下の原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。
・本製品は複層ガラス使用のため、重量が最大で約80kgになります。重量に見合った人数で作業してください。
・本製品はかなりの重量があるため、必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
・必ず指定のスクリュー釘・木ねじを指定の本数で枠を固定した後、障子を建て込んでください。
・開口部を付け枠等でふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取り付けてください。
・躯体取付けねじは必ず締め付けてください。
・テラス(W2000以上)に付いている下枠補強ブラケットは、障子重量を支える重要な部品です。必ず指定のねじで締め付けてください。
・障子の建て込み・調整後、必ず外れ止め調整ねじを上げてください。
●漏水の原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。(本文中の図参照)
・テラス(W2000以上)の場合は外壁材取付け後、下枠補強ブラケットとの間にシーリング材を充てんしてください。
●シャッター本体の脱落や変形による作動不良・雨漏りの原因になるおそれがありますので下記事項をお守りください。
・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認し、柱等の躯体に取り付けてください。
・シャッターを連窓にする場合、吊り束を取り付けてください。吊り束は最大60kgの荷量がかかりますので、□90mm以上の木材を使用してください。

■取付け上のお願い

●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●本製品のうち、サッシ枠の組立て及び取付けは、一般サッシを施工される方が行ってください。
サッシの組立て・取付けは、シャッター(電動)の施工範囲には含まれません。
●シャッター取付け部の開口寸法は、正確に出してください。(H寸法)
寸法が正確に出ていないとシャッター本体が取り付けられなくなり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。(a図参照)
●サッシ枠の水平・垂直を正確に出してください。特に下枠の上下の反りがないようにしてください。
取付け精度が悪いとシャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。
●モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないよう指導してください。
●モルタルはく離剤は、アルミ表面を傷めますので使用しないよう指導してください。
●シャッター部分の組立て・取付けについては本体同梱の取付け説明書をご覧ください。

■a図

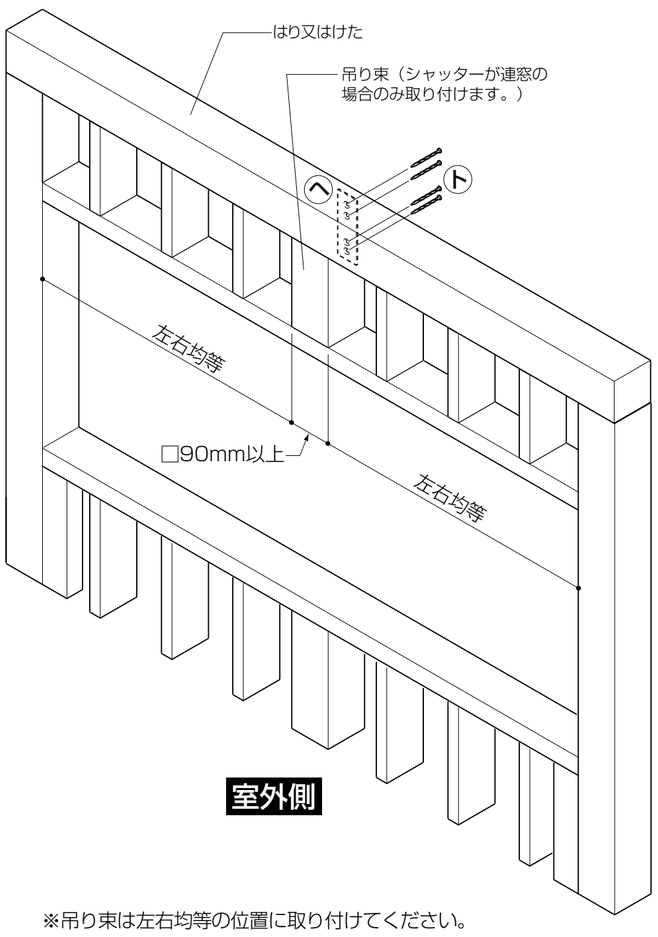


■ねじ一覧表

㋑	㋺	㋩	㋥	㋭	㋬	㋣
φ2.1×25スクリュー釘	φ3.8×38丸木ねじ	φ3.5×20皿木ねじ(アングル部)	ワッシャー付き丸木ねじ〔テラス(W2000以上)のみ〕	M4×35皿タッピンねじ	吊束補強板(連窓のみ)	φ3×50平頭釘(連窓のみ)

■取付け順序

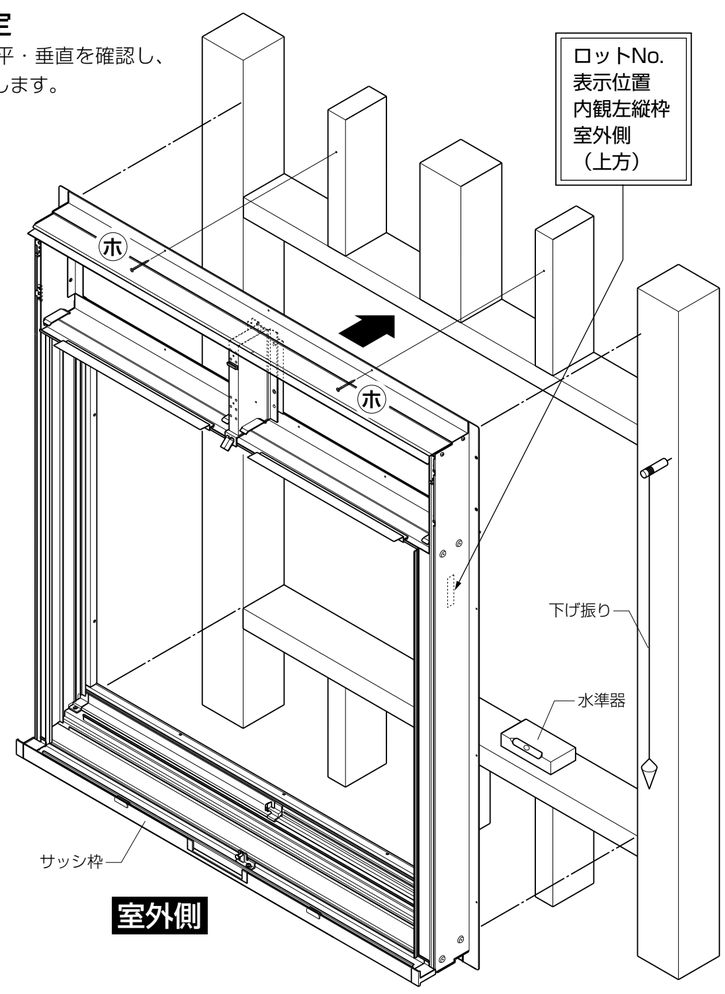
1 吊束の取付け（連窓時）



※吊り束は左右均等の位置に取り付けてください。
連窓するシャッターが左右均等でない場合、シャッター吊束取付け穴に吊り束の中心がくるように取り付けてください。

2 枠の固定

①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。



②下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。

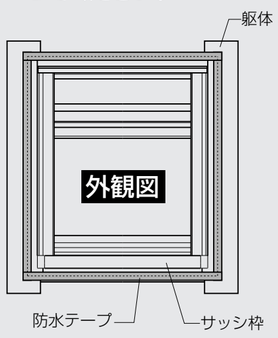
⚠注　意

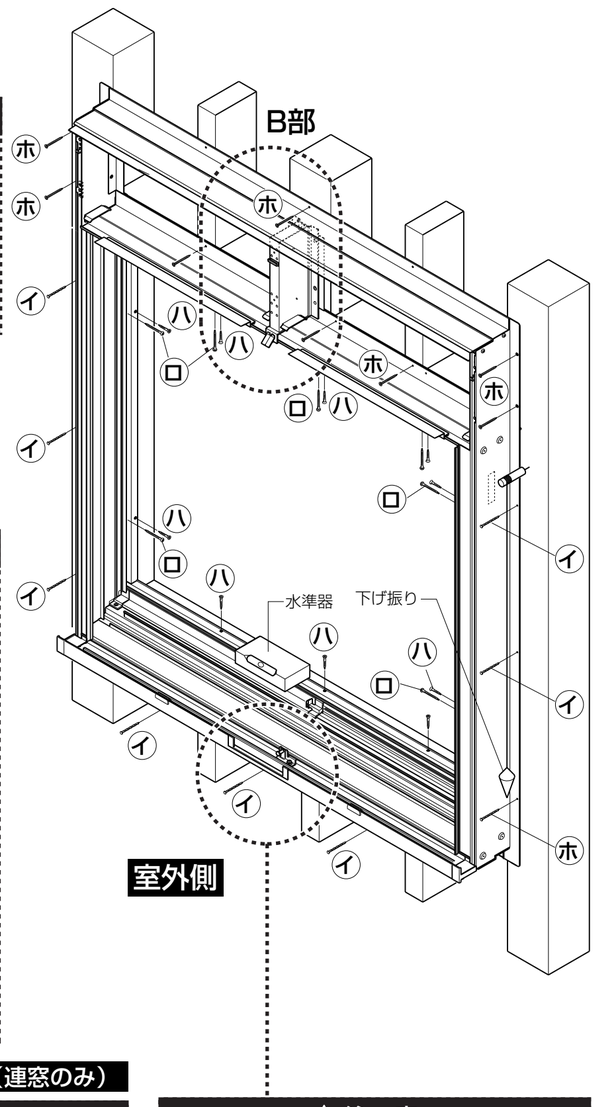
●躯体取付けねじは必ず締めつけてください。下枠が外側にころび、障子が脱落する等の不具合が発生することがあります。

※躯体と下枠の間に透き間が発生した場合は、必ずかい物等で調整してください。

⚠注　意

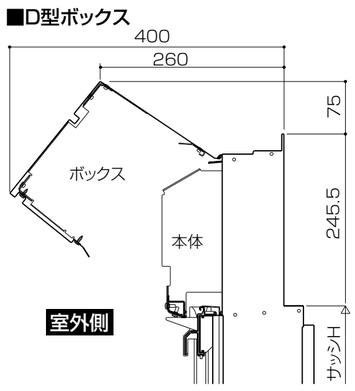
●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。



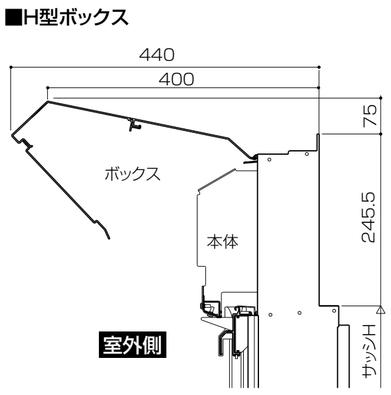


●シャッター本体の施工及びメンテナンスのため、下図のスペースをあけてください。

■D型ボックス



■H型ボックス

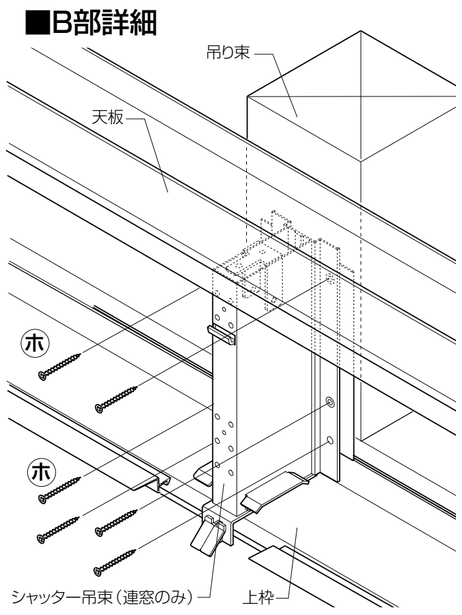


シャッター吊束部取付け詳細（連窓のみ）

⚠注　意

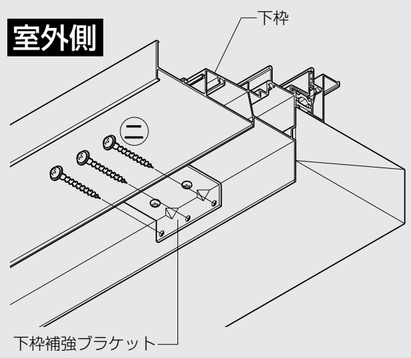
●取付けねじはすべて取り付けてください。本体の脱落や変形による作動不良の原因になります。

■B部詳細



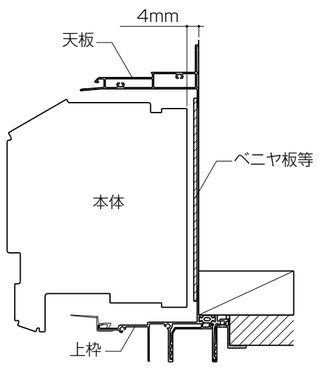
⚠注　意

●テラス(W2000以上)に付いている下枠補強ブラケットは、障子重量を支える重要な部品です。必ず指定のねじで締め付けてください。下枠が垂れ下がるおそれがあります。
※窓およびテラス(W2000未満)の場合は、下枠補強ブラケットは付いていません。



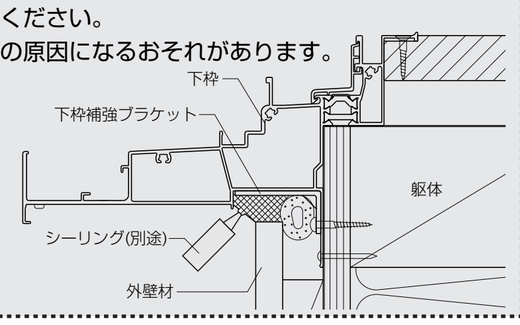
【施工中の防水処理】

※本体取付けまで防水が必要な場合は、防水シートを必ず張ってください。
※防水シートのかわりにベニヤ板等を使用する場合は、右図要領で取り付けてください。



⚠注　意

●テラス(W2000以上)の場合は、外壁材取付け後、下枠補強ブラケットとの間にシーリング材を充てんしてください。
漏水の原因になるおそれがあります。

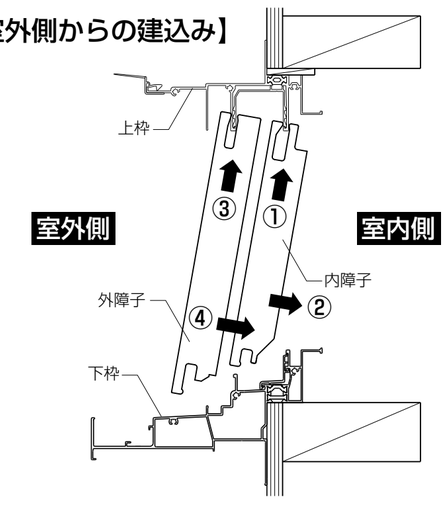


■取付け順序

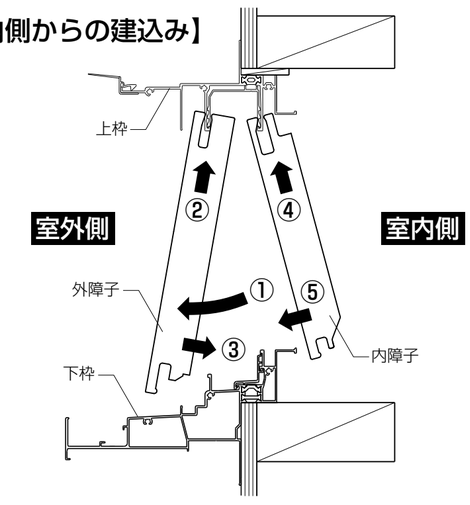
3 障子の建込み

●右図の手順で障子を入れます。
※枠と障子の位置関係は納まり図を参照してください。

【室外側からの建込み】



【室内側からの建込み】

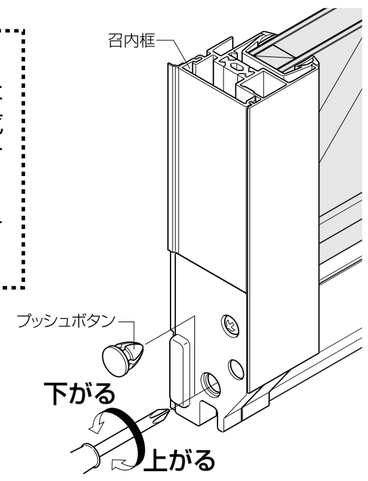


■建付け調整

■戸車調整

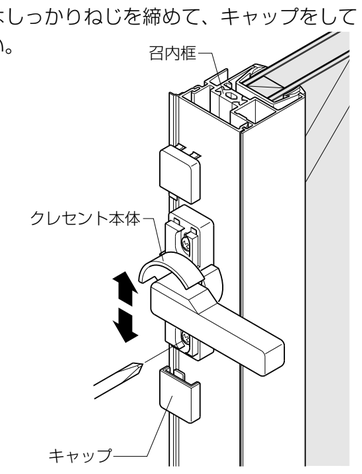
●プッシュボタンをいったん外して調整します。
（調整後は、プッシュボタンを押し込んでください。）
※出荷時、障子は下がった状態にしてあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

■お願い
●召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。
（部品を下げて透き間をなくします。）

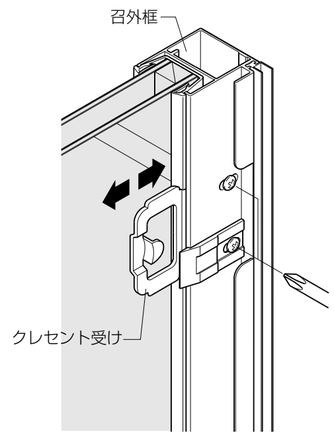


■クレセント調整

【上下方向の調整】（クレセント本体）
①マイナスドライバーでキャップを外します。
②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。



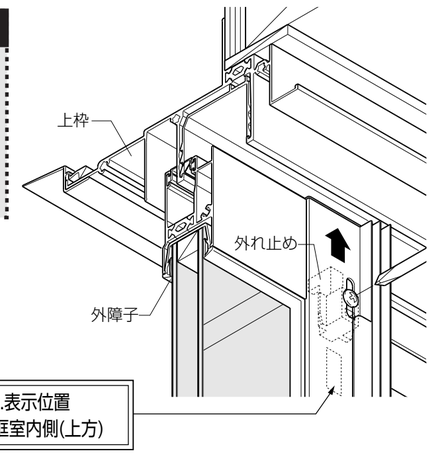
【左右方向の調整】（クレセント受け）
●プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。
※調整後はしっかりねじを締めてください。



■外れ止め調整

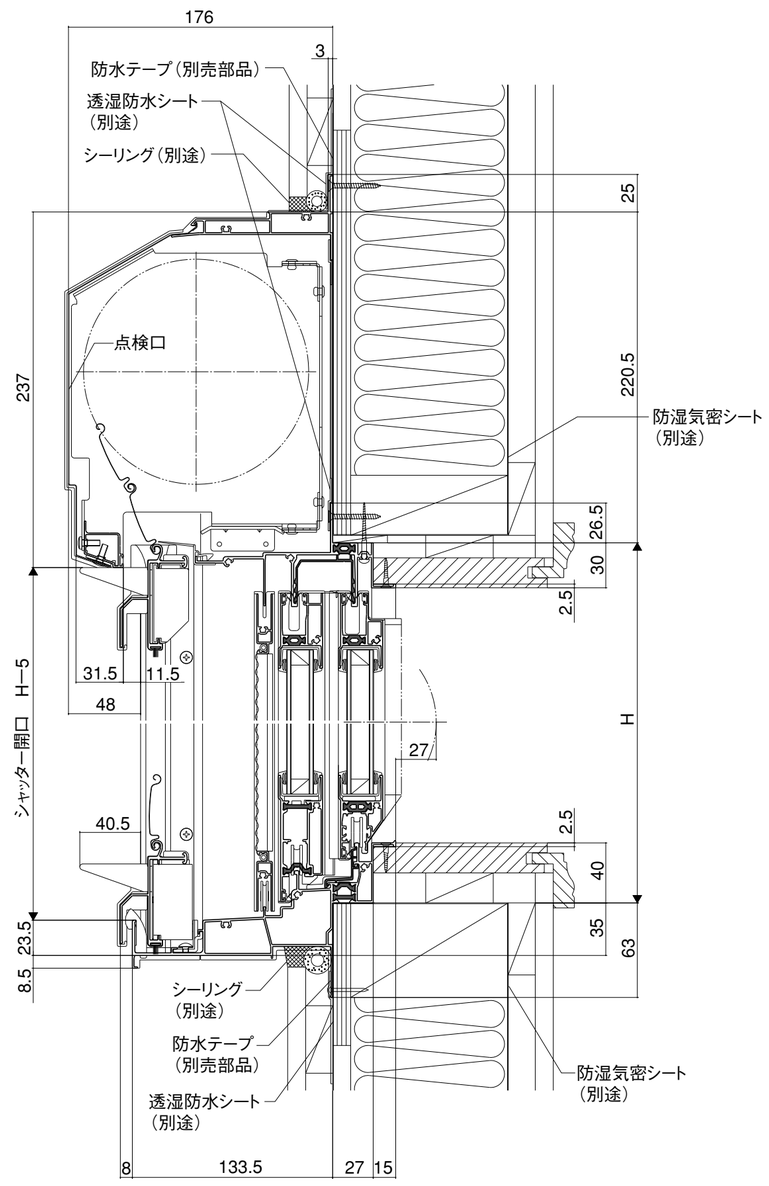
●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
※調整後はしっかりねじを締めてください。

⚠注　意
●必ず外れ止めを上げてください。
障子が落下するおそれがあります。

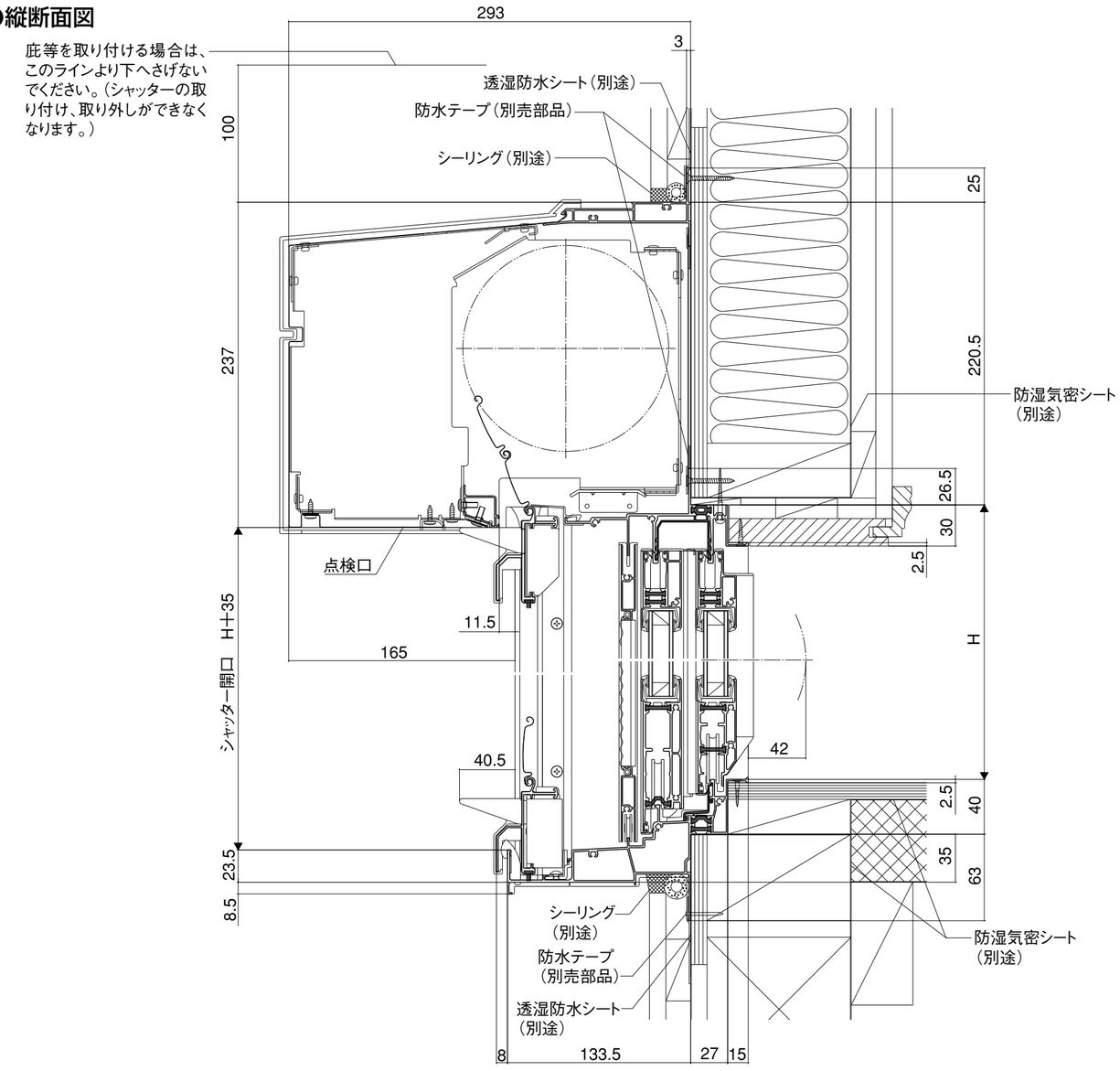


■参考納まり図

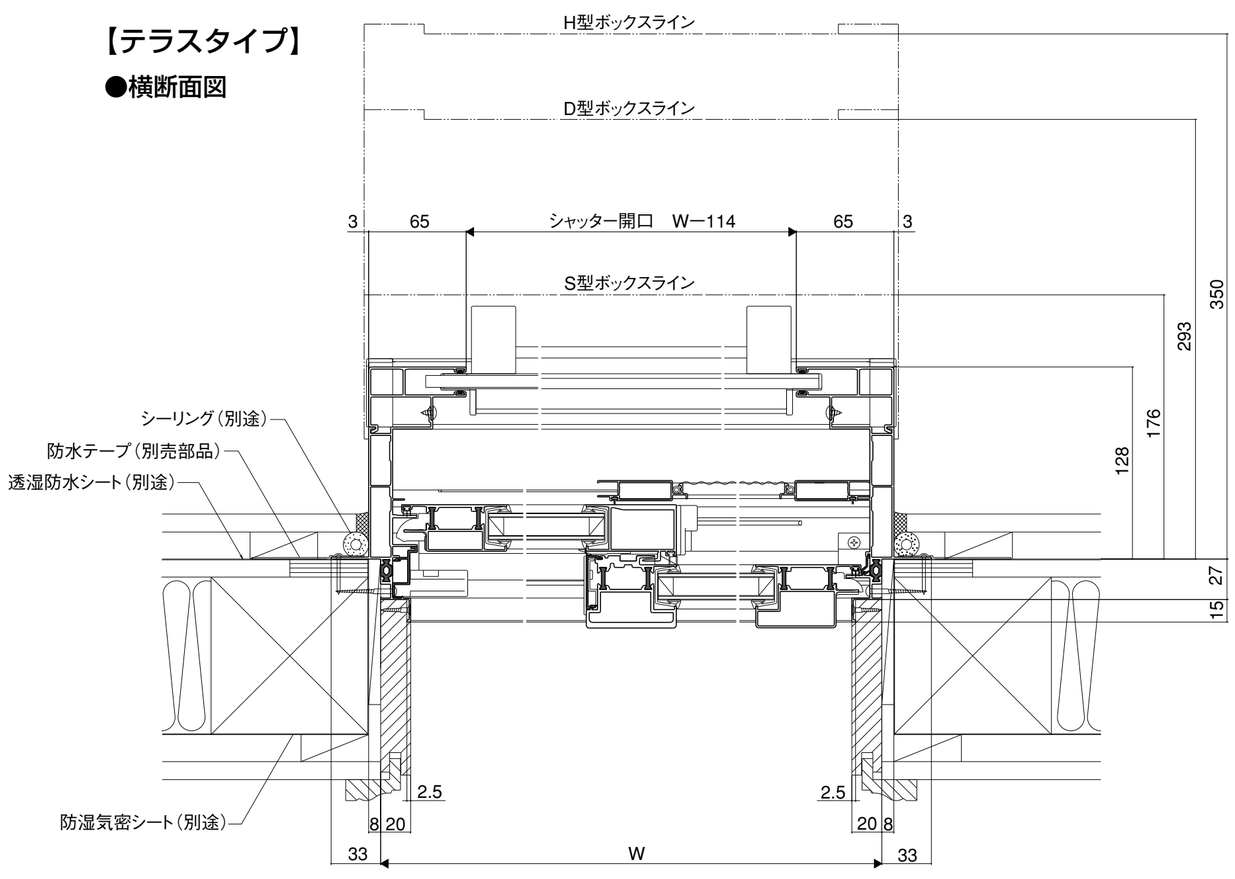
【窓タイプ】
●縦断面図



【テラスタイプ】
●縦断面図



【テラスタイプ】
●横断面図



※本図はイタリヤを示します。アリーズも同様の納まりにしてください。